



学校だより



宮城教育大学附属特別支援学校

令和3年4月8日(木) No.1

教育目標

- 1 児童生徒一人一人の発達に応じた適切な教育を行い、心身の調和的な発達を図ります。
- 2 社会の一員として、心豊かでたくましく生きる力を身に付けた子供の育成を目指します。

TEL 022-214-3353

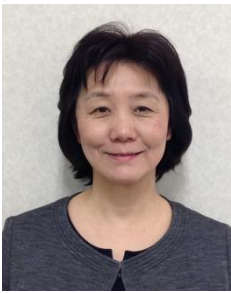
FAX 022-214-3362

E-mail : tokushi@tokushi.miyakyo-u.ac.jp

URL : <https://tokushi.miyakyo-u.ac.jp>

令和3年度 ご挨拶

校長 高田 淑子



令和3年度の新学期が始まりました。

今年は春の訪れも早く、春爛漫、満開の桜のもとでの始業式となりました。自然豊かな青葉山の学び舎で、これから一年間、教職員一同心新たに子供たちとともに過ごせる喜びと責任をかみしめています。

今年度は、新たに、小学部3名、中学部6名、高等部8名、全17名の新生を迎え、小学部18名、中学部19名、そして、高等部25名の合計62名の児童生徒のみなさんとともにスタートします。また、7名の新しい教員と3名の新しい支援員、そして育児休業からの復帰教員1名が加わり、保護者のみなさまとともに、新たな「**チーム附特**」として出発します。

教職員共々、引き続き、子供たちの個性に寄り添い、一人一人の良さを十分に発揮し、自己実現が叶いますよう、丁寧に子供たちと向き合っていきたいと思います。

今年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染症対策を入念に行い、安心安全を第一に考えながらの学校生活になりますが、あらゆる手段を用いて、可能な限り「日常」を取り戻した学校活動を実施してまいります。

令和の始まりとともに本校に着任し3年目、集大成の年となりました。子供たちの輝かしい未来のために、さらなる教育の充実、インフラの整備に努めていく所存です。

最後になりましたが、保護者のみなさまには、日頃より本校の教育活動へのご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今年度も引き続き、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

「不可能」の反対は「可能」ではない。「挑戦」だ！

副校長 門脇 恵



令和2年度は、「新型コロナウイルス感染症対応」に振り回された一年でした。コロナ対策の工夫をしながら過ごした1年間を振り返ってみました。3密（密集、密接、密閉）の回避、マスク着用・咳エチケット、ソーシャルディスタンス等新たな基本的な生活様式への転換が強く求められました。

具体的には、娯楽やスポーツ宴会や食事、カラオケ、イベント等の「自粛」が求められました。テレワークやオンライン会議、時差出勤等、「新しい働き方のスタイル」という声があったところで聞かれました。

今、素直な気持ちで現在の生活の状況について考えてみました。窮屈でストレスに感じていた「新たな生活様式」にもなんとなくですがなじんでいる自分に少し驚きを感じています。皆さんはいかがですか。皆さんは私以上に新たな生活を自分のもとにしていることと思います。「人って、苦境に立たされても、仲間とともにそれを克服していけるんだなあ〜。仲間がいて、大変な事も共有して互いに支え合って共に歩いていくんだなあ〜。」と思いました。ピンチをチャンスと捉え、前向きにチャレンジしていくことの大切さ学んだ1年間でした。ふと、『不可能』の反対は、『可能』ではない。『挑戦』だ！(ジャッキー・ロビンソン)という言葉を思い出しました。

今年度もコロナ禍は続くことが予想されます。こうした状況をプラス思考で捉え、コロナ禍克服に向けて「挑戦」していきたいと思います。そして、子供たちの安心安全で充実した学校生活と自立と社会参加に向け、教職員一同、保護者の皆様とタッグを組んで互いにカバーし合いながら、最善を尽くして参りたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。